校長室から

ひがしなら通心

（Ｈ３０年度）

茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．３５
平成３０年１１月９日（金）発行

災害を考えて、防災を

私たちが忘れてはいけない大切な日の一つが、２０１１（平成２３）年3月１１日、東日本大震災のあった日です。東北の広い範囲で大きな津波に町がのみ込まれる映像が今でも鮮明に焼きついています。火山の多い日本に住む私たちは、日常生活のなかでいつも自然災害について意識していくことを忘れてはならないと思います。そして災害への備えをしておくことが大切です。

「ひょうご安全の日宣言」　平成２９年度



阪神・淡路大震災から２３年が経った
私たちは国内だけでなく 世界の多くの人たちにも
この震災の教訓を知ってもらいたい 活かしてもらいたい
そのように願って 伝え続けてきた

７年前の2011年に 東日本大震災が起こり
２年前の2016年に 熊本地震が発生し
その度ごとに 阪神・淡路大震災の教訓を
もっと活かしてほしいと ずっと願ってきた

地球の温暖化は さらに進み
梅雨前線や秋雨前線が とても不安定になり
線状降水帯も形成され 経験したことのない大雨が降り
それに台風も加わって 風水害もさらに脅威となってきた

アメリカ合衆国では ハリケーン・ハービーが来襲し
それに続いて ハリケーン・イルマも上陸して
歴史上最大の２６兆円の風水害被害をもたらした
メキシコ イラン 韓国でも大きな地震災害が起こるなど
災害は新たなステージに入ったのだ

新たな災害に備えるには さらに対策を進めなければならない
他人事と考えた途端に 今度は自分たちが被災するのだ
日常防災を豊かにして 安全 安心社会に向かうのだ

伝える 備える 活かす 阪神・淡路大震災の教訓を
震災の教訓は すべての災害に通じる知恵だから

2018年1月17日ひょうご安全の日推進県民会議

兵庫県では、１９９５（平成７）年１月１７日に起こった「阪神・淡路大震災」を受けて、「ひょうご安全の日を定める条例」（平成１７年４月１日施行）が制定され、毎年１月１７日にひょうご安全の日宣言が出されています。今年で１３回目の宣言文です。ネットで１回目から全部、見ることができますよ。

防災訓練に参加しましょう！

主　　催　　東奈良小学校区自主防災会

日　　時　　平成３０年１１月１８日（日）
受付：午前９時３０分　開始：午前１０時～１２時30分

場　　所　　東奈良小学校体育館

訓練内容
- 避難誘導の訓練
- ランドセルの活用
- 事前の備え
- 地震時の身の守り方
- 地震直後の行動訓練
- 避難所での役割など



日は違いますが、茨木市内の各地区毎に防災訓練は行われています。年に１回なので忘れてしまうこともあり、先生も毎年参加するようにしています。今回は、仙台市の防災アドバイザー吉田亮一さんのお話です。とても有名な方で、翌１９日（月）も郡山小と天王小で防災教室をされます。一昨年度は大池小、昨年度は耳原小と沢池小でもされています。是非、参加してみてください。防災のいい勉強ができますよ。防災訓練を受け、災害時に備えましょう。

みんなのためのルールブック　最後のルール

「あたりまえだけど、とても大切なこと」　ロン･クラーク　草思社

ルール５０　君のなれる、もっともすばらしい人間になれ

人生を楽しみ、自分にほこりをもてる人間になろう。他人に救いの手をさしのべる人、まちがいから学べる人になろう。
●どんな人生にも、苦しみや悲しみがついてまわる。でもどんなときでも、自分が成長して、こうなりたいと思う人間になるための努力を忘れてはいけない。